

### 【1. 概要】

- ・きゅうり栽培に深刻な影響を及ぼすキュウリ黄化えそ病を媒介するミナミキイロアザミウマの防除のため、薬剤防除だけでなく、防虫ネットの利用や天敵等を組み合わせることにより、効果的な防除を実践



図1. ミナミキイロアザミウマ成虫

### 【2. 実践内容】

#### (1) 取り組みの背景、経緯

平成21年の秋に黄化えそ病が確認されて以降、被害が急激に広がったため、以下のミナミキイロアザミウマ(図1)に対する防除対策を徹底した。

- ・侵入率の低い0.4mm防虫ネットの利用推進(図2)
- ・天敵(スワルスキー)の利用推進
- ・アザミウマの侵入を防ぐと言われている赤色ネットの実証

#### (2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・県機関が一丸となって対策を講じるため、平成23年4月に研究機関、指導機関で対策チームを結成
- ・黄化えそ病対策マニュアルを作成(平成24年6月)し、研修会や巡回指導等で活用



図2. ハウス周囲への防虫ネットの設置

### 【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・0.4mmの防虫ネットの利用拡大。その結果、ハウスサイドの被覆率は29%(H21)から73%(H24)に増加
- ・黄化えそ病の被害減少(図3)

#### 今後の予定・課題

- ・総合的な害虫管理(入れない増やささない出さない管理)の徹底

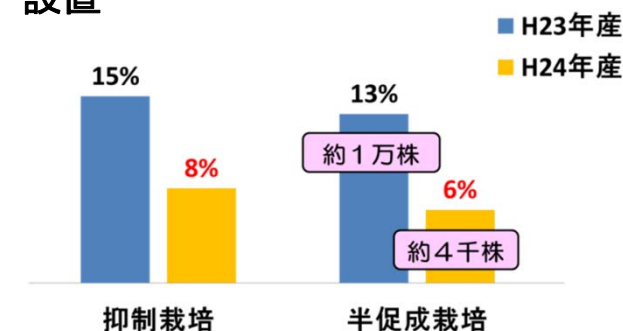


図3. 黄化えそ病の発病株率 (海津胡瓜部会)